

植松健郎教授略歴および業績

略 歴

1932年大阪に生まれる。39年玉出第二尋常小学校。大東亜戦争勃発で41年に岸里小学校に改名。44年海南市の専念寺に学童集団疎開。45年空襲をうけ、小学校も破壊され卒業式はないまま浪速中学校（旧）に入学するが終戦まで農作業に動員され、戦後も農作業に動員される。48年大阪府立今宮高等学校に入学。52年大阪市立大学ドイツ語ドイツ文学科。58年大阪市立大学大学院修士課程を終え、その年から大阪音楽大学助手、武庫川女子大学非常勤講師としてドイツ語教師第一年目が始まる。59年大阪工業大学専任講師、64年同大学助教授。65年関西大学文学部専任講師。翌66年助教授。67/68年 Alexander von Humboldt 財団給費留学生として、Stuttgart 工科大学の Fritz Martini 教授のもとで研鑽。68年パリ五月革命はパリで、大学紛争はドイツで体験。69年から学園紛争がはじまる。紛争下の71年、関西大学生生活共同組合理事長をひきうけ、当時は一年しか続かなかった理事長職を77年まで続ける。72年教授昇格。79～82年、大西学長のもとで3年間の学生部長職を全うする。本学の学園紛争もこの間に終焉する。

2000年新しく設置された機構、外国語教育研究機構教授。

海外留学は19ヶ月の Alexander von Humboldt 財団給費留学のほか、関西大学在外研究員として82年、89年にそれぞれ6ヶ月 Siegen 総合大学の Kreuzer 教授、München 大学の Häntzschel 教授のもとで研鑽。

役職等委員歴

身体障害者等問題委員会委員長 1977/78
学生部長 1979～82
関西大学創立100周年記念事業計画委員会委員 1982
人権問題委員会委員長 1983/84
関西大学教員組合執行委員長 1992/93
人権問題研究室員 1996～2000
新機構設立準備委員 1999

所属学会

日本独文学会

阪神独文学会

女性・戦争・人権学会

Oskar Maria Graf-Gesellschaft e.V.

Internationale Vereinigung für Sprach- und Literaturwissenschaft (IVG)

研究業績

著 書

『文学はなにができるか』（共著） 福村出版 1972

『性差と文化』（共著） 玄文社 1988

『文化の中の女と男』（共著） 嵯峨野書院 1993

翻 訳

F. ショーナウア 『第三帝国のドイツ文学』（共訳） 福村出版 1972

E. ハノーファ・ドリユック 『ローザ・ルクセンブルクの暗殺』（共訳） 福村出版 1973

オスカー・マリーア・グラーフ 『ぼくらは囚人だ』（解説付） 関西大学出版部 1993

学術論文

「ハイネの晩年の詩境」 『クヴェレ』 第1号 1957

「自由韻律試論」 『クヴェレ』 第3号 1958

「『支那の長城』と超越者」 『クヴェレ』 第8号 1960

「カフカの短編への一考察」 『大阪工業大学紀要』 4/1 1960

「ヨーロッパの Volksmärchen の抽象的様式について」 『大阪工業大学紀要』 6/1 1961

「Kafkaの Beschreibung eines Kampfesにおける意識の問題」 阪神ドイツ文学会編『ドイツ文学論攷』 第6号 1965

「Beschreibung eines Kampfesにおける構成上の問題」 『大阪工業大学紀要』 9/1 1961

「現代ドイツ文学史考」 『関西大学文学論集』 80周年記念号 1965

「Entstehung des modernen Ichs und seine Entwicklung」（共著） 関西大学独

- 逸文学会編『独逸文学』第12号 1967
- 「Studie zum Problem des Aufbaus in „Beschreibung eines Kampfes」 『関西大学文学論集』16/5 1967
- 「Über die Falschheit in der „Verspätung“ von Hildesheimer」 関西大学独逸文学会編『独逸文学』第16号 1971
- 「われわれにとってゲルマニスティクとは何か」 関西大学独逸文学会編『独逸文学』第21号 1973
- 「グラーフとドイツ革命」 『関西大学文学論集』27/3 1978
- 「外国語教育の問題点」 関西大学一般教育センター『研究センター報』第3号 1979
- 「抵抗の詩人 オスカー・マリーア・グラーフ」 『関西大学文学論集』百周年記念号 1986
- 「外国語教育の現状と問題点」 阪神ドイツ文学会編『ドイツ文学論攷』第29号 1987
- 「ボヘミアン オスカー・マリーア・グラーフ」 『関西大学文学論集』42/4 1993
- 「年代記作家 オスカー・マリーア・グラーフ」 関西大学経済・政治研究所『研究双書』II 1994
- 「ナチスのブラックリストと『ホワイト』リスト」 『関西大学文学論集』45/3 1996
- 「グラーフ 評価の問題」 『関西大学文学論集』47/4 1998